

## 対話型鑑賞



本校には、ノブレス・チャレンジという不定期の企画があります。これは様々な分野の方をお招きし、放課後などに希望生徒対象に行う講演会のことです。

今月（1月16日）のノブレス・チャレンジは、熊本市現代美術館の学芸員の方を講師としてお招きし、校長室を会場に「対話型鑑賞」というワークショップを行っていただきました。

対話型鑑賞とは、一つのアート作品を鑑賞しながら、ファシリテーターの問いかけに沿って参加者同士で感じしたことや考えを述べ合い、作品をより深く味わう鑑賞方法のことです。

今回学芸員の方が準備された絵画は、宮崎静夫さんという熊本県出身の画家の《友よ》という作品。見る側にいろんなことを投げかけてくる絵画で、これを鑑賞しながら、参加した生徒たちも積極的に意見を出し合っていました。

本校の卒業生の方も一人参加されていて、その方が「同じものを見ている人でも人によって見方が違うということに気づく体験をすることで、『この人はどう見ているのか』ということを考えるトレーニングとなり、仕事上の人間関係でも役立ちそうです」と感想を語ってくれました。

大変興味深い、豊かなひと時を過ごしました。